

第75号議案

八王子市保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例の
一部を改正する条例設定について

八王子市保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
を次のとおり設定するものとする。

令和3年6月7日

提出者 八王子市長 石 森 孝 志

八王子市保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する
条例

八王子市保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例（平成26年八王子市
条例第32号）の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p><u>（就業環境の整備）</u> <u>第10条の2 保護施設等は、利用者に対し適切な処遇を行う観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより職員の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じなければならない。</u></p> <p><u>（業務継続計画の策定等）</u> <u>第10条の3 保護施設等は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する処遇を継続的に行うための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」という。）を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じなければならない。</u></p> <p><u>2 保護施設等は、職員に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修</u></p>	

及び訓練を定期的実施しなければならない。

3 保護施設等は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行うものとする。

(非常災害対策)

第12条 (略)

2 (略)

3 保護施設等は、前項に規定する訓練の実施に当たって、地域住民の参加が得られるよう連携に努めなければならない。

(衛生管理等)

第22条 (略)

2 救護施設は、当該救護施設において感染症**又は食中毒**が発生し、又はまん延しないように、次の各号に掲げる措置を講じなければならない。

(1) 当該救護施設における感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置その他の情報通信機器を活用して行うことができるものとする。）を定期的開催するとともに、その結果について、職員に周知徹底を図ること。

(2) 当該救護施設における感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針を整備すること。

(3) 当該救護施設において、職員に対し、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修並びに感染症の予防及びまん延の防止のための訓練を定期的実施すること。

(非常災害対策)

第12条 (略)

2 (略)

(衛生管理等)

第22条 (略)

2 救護施設は、当該救護施設において感染症が発生し、又はまん延しないように**必要な措置を講ずるとともに、感染症の発生及びまん延の防止に係る研修を実施するよう努めなければならない。**

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和3年8月1日から施行する。

(業務継続計画の策定等に係る経過措置)

2 この条例の施行の日から令和6年3月31日までの間、この条例による改正後の八王子市保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例（以下「新条例」という。）第10条の3の規定の適用については、同条第1項中「講じなければ」とあるのは「講ずるよう努めなければ」と、同条第2項中「実施しなけれ

ば」とあるのは「実施するよう努めなければ」と、同条第3項中「行うものとする」とあるのは「行うよう努めるものとする」とする。

(感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための措置に係る経過措置)

- 3 この条例の施行の日から令和6年3月31日までの間、新条例第22条第2項（新条例第30条、第36条及び第42条において準用する場合を含む。）の規定の適用については、新条例第22条第2項中「講じなければ」とあるのは「講ずるよう努めなければ」とする。

